



新町自主防災ニュース

(1~4丁目)

2023年9月15日発行 048号

「新町自主防災会」編集

*防災ニュースは新町の自治会加入の全世帯に配布しています

・大地震が発生した時トイレは大丈夫?

- ・震災で家庭のトイレが使えない
- ・復旧は電気、ガス、水道が優先、下水道はその次



・トイレ対策は必須 (健康面、衛生面の点からも大切)



自助

◎各家庭でトイレ備品の備蓄

<トイレ備品>

- ・便袋
- ・抗菌凝固剤

<備蓄の目安>

人数 × 5回 × 3日



便袋 抗菌凝固剤



*使用後は“可燃ごみ”として廃棄

共助

◎簡易トイレ

設置場所・5ヶ所の一時避難場所

<1セット (組立て前)>



テント



便座



便袋 & 凝固剤

*現在、各防災倉庫に1セット
⇒増やす方向

公助

◎マンホールトイレ (刈谷市防災設備)

設置場所

- ・狩野公園 10基 (テニスコート横の駐車場)
- ・平成小 4基 (校内の刈谷市防災倉庫横の通路)



マンホール蓋を開ける



和式トイレ



洋式トイレ



テント



*詳細は刈谷市ホームページ
いざというときに⇒防災・減災⇒避難所・防災設備⇒マンホールトイレ



我が家の防災

我が家では非常食は準備していましたが、非常時のトイレが不十分だったため、今回以下の3点を購入しました。

①簡易トイレ (Amazon¥4,580)

万が一自宅トイレが壊れた時のために頑丈な簡易トイレを準備しました



②処理袋100回分 (Amazon¥6,980)

4人家族で約5日分



③処理袋を入れる防臭ゴミ袋 (Amazon¥999)

予備として購入



【使い方】



計 ¥12,559

全部揃えると高いかもしれませんが、非常食と同じくらいプライベートトイレは重要と考えました。他にも価格も種類もたくさんありました。